

アスベスト被害

無料です

健康・法律相談会のご案内

2024年3月に尼崎市が開いた「アスベストセミナー」で市内のアスベスト被害者の疫学調査結果が明らかにされました。それによると、①尼崎市民の中皮腫死亡比は全国よりも高い(女性10.4倍、男性4.6倍。労災認定者を除く)、②特に1969年までに尼崎市民になった人のうち、アスベスト粉塵を大量に排出したクボタ旧神崎工場に近かった小田地区における中皮腫死亡比が高い(女性68.6倍、男性21.1倍)リスクがあると指摘。

クボタの発表によると、周辺住民等に「救済金」を支払った人は404人を数え、クボタ従業員の被害者257人と合すると661人(今年6月末現在)。全国でも例を見ない深刻な被害です。

私たち、アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会は、19年前の「クボタショック」発覚直後から、聞き取り調査や健康相談、クボタと国の責任を問う裁判闘争、国・市に対する検診制度の確立を求めながら、被害者個々の相談や弁護団の力を借りた損害賠償請求なども進めてきました。しかし、被害者はまだまだ埋もれています。

下記の日程でアスベスト被害に関わる「なんでも相談会」を開催します。お気軽にご参加ください。相談に関する個人情報は厳守します。

とき **10月19日(土) 13~16時**

ところ **潮江診療所**

尼崎市下坂部 1-7-7 06-6499-4213



*お知らせ

船越正信会長(潮江診・所長)が、ラジオ関西(AM558 FM91.1)に出演

10月12日(土)朝6時30分~6時45分 「兵庫県保険医協会の聴く医療」

アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会

〒660-0805 尼崎市西長洲2丁目34 尼崎教育会館2階 (06-6489-2600)